

平成 29 年度新城設楽地域産業労働会議における主な発言要旨

日時 平成 29 年 8 月 23 日(水)午後 2 時から午後 4 時まで

場所 新城地域文化広場 第 104 会議室

(官民一体となったワークライフ・バランスの推進)

- ・ 部署によって年休の取得に差が出ている。多いところでは月に年休 1 日、少ないところでは年間で年休 1 日など。管理職も含め年間で 5 日取得の呼びかけを 5 月くらいから始め、年休取得計画を作っているが、どうやって現実に取得するかという点で留まっている。
- ・ 水曜日を残業ゼロの日としている。17 時 30 分くらいに今日はノー残業デーというアナウンスをして帰宅を促しているが、部署によっては残業している。月 1 回残業パトロールとして、組合と管理職で職場巡視をしているが、けっこう残業している。
- ・ ノー残業ではなく、サービス残業をしていないかという意味で、見ているのが現状である。現実を見ると、ノー残業デーだから帰宅するという流れにはなっていない。生産性が一律ならばよいが、人により異なり、しわ寄せが残業を断りきれない人に来ている。
- ・ 労働時間を少なくすると、その生産性の向上を当然求めて行く形になるが、この管内では大きな生産性の向上の動きが無い。
- ・ 毎週水曜日をノー残業デーとしたが、残って仕事をしている人も多いため、昨年より課単位で毎月 1 回水曜日を完全ノー残業デーとして、部長が帰宅を確認する取組を行っている。
- ・ 今年 2 月から毎月最終金曜日をプレミアムフライデーとし、課ごとに 17 時になったら退庁するように言っているがなかなか実行されていない。

(仕事と育児・介護の両立が可能な職場環境の整備促進)

- ・ 生き活きと働くためには、介護福祉が大きな問題となる。遠方の地方出身者にとっては、親の介護が心配だと言われる。いろいろな形で介護休暇制度を作っているが、育児休暇は社会保障制度が手厚くなっているのに対し、介護休暇は保障が少ない。制度的な保障もないため、介護は厳しい状況である。
- ・ 介護に伴う勤務形態は、いろいろあって、介護デイサービスの使用時間に沿ったフレックスタイム制や短時間勤務の選択などがある。男性の方は、どちらかというとフレックスタイム制を利用している。
- ・ 育児休業はかなり進んでいるが、介護はなかなか進まない状況にある。
- ・ 女性が介護しているので男性が生き活きと働けるという状態は問題である。

(女性・高齢者・障害者・外国人など多様な人材の活躍促進)

- ・ 事業主は、若い人の雇用を望むが、現実的に若い人はすでに就職してほとんどいない。女性、高齢者、障害者をいかに活用していくかということになる。
- ・ 人材を外国人労働者に頼らざるを得ない。
- ・ 女性の活用、女性の気づきについて。問題が発生しても、女性でなければ判らないこともある。弊社でも女性の役員がいる。工場長は女性でしっかりしている。

- ・浜松でみかんの収穫のための雇用があったが、高齢者が多い。今回の例は半年間の契約で雇用保険の対象となったが、その前は、あまり収穫がなく短期間の雇用となったため、対象とならず不安定な状況に置かれた。
- ・新城管内の求職者は高齢者が多い、農業等の収穫時に大量に一時期だけ雇用したいといっても難しい、また、体力面なども問題となる。この管内の高齢者は、生活もそんなに苦しくないで、自ら短期間勤務を希望する者も多く、三世同居だから働かなくても良いと言う人もいる。
- ・労働組合として、どうしたら女性が活躍できるかということ、経営側に申し入れをしていく。
- ・「処遇などが保障されないとせっかく頑張っても、経験があっても生かせない。」と女性の方から意見があった。その点を国というよりも、経営者と話をすることが一番大切と思う。

(非正規労働者の処遇改善の促進)

- ・人材の確保に向けて事業所や事業所団体に求人依頼をかけているが、その際、正社員と呼びかけている。
- ・非正規社員は有期雇用という形態が多く、低賃金、能力開発の機会も少ない状況である。現在は雇用情勢が改善しつつあり、この時期を捉え、非正規社員を希望に基づき正規社員へ転換して行こうという動きをしている。
- ・訓練関係では、非正規の方を対象とした長期訓練を設けている。

(県への要望)

- ・助成金を受ける場合に多くの書類を作成し、その後審査を受けるというのが煩わしい。提出書類の簡素化をお願いしたい。
- ・介護休職として1年を保障している。介護は育児と違い先が見えない。介護に関する県条例を作ってもらいたい。
- ・ふるさと回帰フェアが東京で開催されると聞いた。残念ながら企業の参加はできないようだが、出展者は地方自治体、NPOが多い。北海道、東北、四国、山陰、九州など過疎化が進んでいるところが多く、残念ながら、愛知県は、愛知県と豊田市のみ参加予定である。9月10日に東京で開催されるが、愛知県内の自治体に声をかけていただいて、東京から有能な人材を引っ張ってきてもらいたい。